

## 熊野町立地適正化計画策定委員会（第 4 回）

日 時：令和 5 年 8 月 10 日（木） 10:00～12:00

会 場：熊野町役場 3 階 301-302 会議室



## 1. 開会

## 2. あいさつ

### 熊野町 三村町長

- ・ 本日は、熊野町立地適正化計画策定委員会にご出席を賜わり厚く御礼申し上げます。当委員会では皆様から頂いたご意見を踏まえ、立地適正化に関する基本的な方針を検討してきた。本日で 4 回目になるが、この計画で最も重要な誘導区域の設定、誘導施策について説明させて頂く。皆様ご意見を頂きながら本町ならではの強みを活かし、持続可能なまちづくりに繋がりたいと思っている。
- ・ 前回に続き、ご専門の立場から忌憚のないご意見を頂きますよう、お願い申し上げ、挨拶とする。

### 事務局

#### 《欠席者》

- ・ 宮田委員（熊野町商工会会長）
- ・ 北村委員（金融懇談会幹事）

#### 《配布資料の確認》

### 田中会長

- ・ 本日はお忙しい中、お集まりいただき御礼申し上げます。
- ・ 円滑な議事進行に努めてまいりたいので、よろしく願います。
- ・ 熊野町立地適正化計画策定委員会設置要綱第 6 条第 2 項に基づき、本日の出席人を確認させていただく。ただ今の出席者 11 名。定足数に達しているため、会議としての成立していることをここにご報告申し上げます。
- ・ 議事は次第に沿って進めさせて頂く。議題（1）「第 3 回策定委員会の意見と対応」について、事務局から説明をお願いします。

### 3. 議事

#### (1) 第3回策定委員会の意見と対応

##### 事務局

《第3回策定委員会の意見と対応について説明》

- ・資料の示し方について概要版の提示
- ・地域別の現状分析や人口推移について地域別カルテを説明
- ・熊野町ならではの強みを活かすことについて説明

(意見、質問なし)

#### (2) 熊野町立地適正化計画の骨子等

##### 事務局

《熊野町立地適正化計画の骨子等について説明》

- ・誘導区域の説明
- ・誘導施策の説明
- ・防災指針の説明

##### 高井委員

- ・説明して頂いた都市機能誘導区域について大きな異論はないが、それぞれの3つの案は将来の熊野町にとってどのようなメリットがあるのか。そこを説明して頂いた方が理解しやすい。
- ・主な違いはないが、設定の考え方の話なので、将来を考えていくときに立地適正化計画の目的に不足している等、意味合的なものや違いを説明していただければと思う。

##### 事務局

- ・将来のまちづくりの思いとしては、中央地域に都市機能誘導区域を設定したい（第1案）と考えている。
- ・本町の課題として、西部地域には都市機能が集積しており、利便性が高い、西高東低といわれる都市構造になっている。
- ・住民ワークショップを通じて、西部地域では「コミュニティが課題」という意見が多くあった。中央地域、東部地域では、コミュニティの話になる前に「生活の利便性」についての意見を多く頂いた。これらを踏まえ、町全体の将来的な構造を改めて検討した時に、中央地域に都市機能、公共交通拠点、診療所、子育て支援施設、商業等の生活利便機能を新たに中央地域に誘導することで、全町民の生活利便性の向上やサービス利便性を享受できることを考え、第1案を設定している。
- ・第2案、第3案について進めると将来的にどうなるかは、西部地域の都市機能の状況を踏まえ、低未利用地が少なくなってくれば都市拠点が中央地域に拡大されていく形になると思われる。これまので課題、方針を踏まえ第1案を進めさせていただければと考えている。

## 高井委員

- ・第1案の方が、都市機能を集約したいという意思がある。別に少し広がったからどうという訳ではない。そのところをそれぞれの案の特色を示した方がいいのでは。
- ・それほど大きな違いはないと思う。立地適正化計画の考え方を踏まえて集約をしていきたいと考えていくと1案になる。ただし、第2案、第3案を見てダメだとは感じない。

## 事務局

- ・熊野町の現状や集約していくという意気込みを踏まえ、第1案にさせて頂きたいと思う。

## 田中会長

- ・決め方の説明があるがその先に何があるか、何を目指しているかが大事だと感じた。

## 廣中委員

- ・都市機能誘導区域について、町の方針の第1案を私も支持するが、区域設定が分かりにくい。県道沿道から主要町道で設定した区域と書かれている。道の堺で切っているのか、町道からいくらか距離を設定して切っているのか。そのあたりを明示したほうが、町民の理解も深まるのではないかと思う。
- ・最初に資料を見た時に第1案から第3案が並列的に記載されている。それをこの委員会で決めるというのも強引かなと思っていたが、先ほどの説明で、町としての意思をはっきり聞いた。個人的に第1案に関しては町の将来像を設定した上で推奨していたので、立地適正化計画の目的に合致するので良いと感じた。

## 事務局

- ・区域の設定の示し方については、素案に工夫して示せるように調整したいと思う。

## 廣中委員

- ・矢野安浦バイパスの計画があるが、その線を破線でもいいので描いてもらえないか。将来新たな発展軸となる可能性もある。

## 事務局

- ・素案で分かり易く提示していきたい。参考資料1には矢野安浦バイパスを示しており、素案の方でもしっかり示したいと思う。

## 栗原委員

- ・中央地域にサービスを集約するとのことだが、東部地域は交通手段の確保が難しい状況。住民や協議会の中でも様々な議論がされ、なんとか関係者の中で交通手段が確保されている。それもいつまで続くかわからない。
- ・東部地域の方々が、熊野町の様々なサービスを利用するために、中央地域に移動するための移動手段を示さないといけないのではないか。

## 事務局

- ・ 東部地域の移動手段の不便さは、アンケート調査でも高く示されている。立地適正化計画において、交通拠点施設を再配地していきたいと考えている。また、並行して地域公共交通も議論をしている。
- ・ アンケート調査で不満に思われることは示されており、町としても課題として認識している。公共交通を維持する方向でまちづくりを進めたいと考えている。

## 光本委員

- ・ 事務局の示した、都市機能誘導区域第1案に賛成である。西部東低のこれまでのまちづくりをシフトチェンジしていくべきである。それと熊野町の周辺の地域に目を向けると、東広島市が連携に力を入れている。道路、ライフライン等も非常に力を入れている。東広島呉道路、人口増施策、大学誘致、企業誘致、高速道路 IC の整備など進めて、飛躍的に発展している。合わせて、東広島呉道路、3月に開設した東広島安芸バイパスなど、これから車や人の流れが変わってくるのではないか。その辺りも視野に入れ、第1案を進めて行くのに賛成する。
- ・ 併せて、矢野安浦バイパスの整備が終わった後のことを考えると、単に中央地域に交通拠点を移すだけでなく、居住誘導を萩原、城之堀方面に積極的に進めていくことが必要ではないか。
- ・ また、筆工房はアクセスの弱い弱点がある。工房へのアクセス向上も兼ねた、町道整備を計画内に盛り込んでもらいたい。

## 事務局

- ・ 筆の里工房へのアクセスについては各所から意見等を伺っており、その辺りを踏まえてどのように確保していくか検討を進めていきたいと思う。

## 矢吹アドバイザー

- ・ 誘導施策を立地適正化計画に関する基本的方針の3つに沿って整理している。都市再生特別措置法の誘導施策の記載は2本立てとなっている。都市機能誘導区域に誘導施設を誘導するための施策と、居住誘導区域内に居住を誘導するための施策。それが方針1、方針2に対応していると思う。方針3の交通の話は、両者に関係してくると思うが、どの様に関わってくるのかがわからない。そのため、2本立てで整理したほうが、交通が両者にどのように関わってくるか分かるようになるので、交通として独立して整理しない方が良いのではないか。
- ・ 誘導施策は総花的に感じる。誘導施設を都市機能誘導区域に誘導する施策であれば、例えば子育て支援施設を誘導するために何をするのか対応できるように示すことができないか。やりたいことの個々の目的に対応するように施策を設定しないと検証が難しいのではないか。
- ・ 先ほど話されていた交通施設の話も、想定した場所があると思うが、そのためには何をするか。目的と施策が対応するように整理されてはどうか。
- ・ 居住誘導はハードルが高く、東部地域の居住誘導区域に誘導するにはどうすればいいのかなど、地区毎に誘導施策は変わってくると思う。個々に整理されるのが良いと思う。
- ・ 同じことが、防災指針に対しても言える。町内に様々な災害リスクがあると思うが、即地的にこの災害リスクにはこの施策だと対応関係が分かった方が良いのでは。現状だと、いろんな施策

を総動員でやるようにみてとれる。

- ・地域の災害リスクの区域を特定した上で、施策を旗揚げして示すと分かりやすいのではないか。
- ・ハザードの種類について、最近、問題となっているのが内水である。下水道施設の関係で、雨水出水頻度が高いハザードになっている。下水道施設がキャパオーバーで溢れるのか、排水先の川の容量が足りないのか、可能であれば雨水出水も見てもらえるとよい。内水ハザードの作成は進んでいないので、浸水想定区域等の整備状況で可能であれば対応いただきたい。

## 事務局

- ・資料の構成について、考え方等も踏まえて協議させて頂ければと思う。方針としては、書き方、体裁を検討させていただく。
- ・防災指針の内水について、近年の豪雨により町内で頻発しており年に1~2回、各所で起きている。多発しているところを掲示できればと考えている。下水道に関しては関係者に意見を伺ったうえでどのように対応すればいいか検討させて頂ければと思う。

## 廣中委員

- ・P46、災害リスクを示してあるが、これだけでは非常に乏しい。地域別ごとに、災害リスク分析を詳細にし、事務局からも言われたが浸水歴が過去にどこで、どのように、範囲など分かるようにした方がいいのではないか。学校、避難所など防災上重要な箇所のリスクがどのようになっているか分かるようにしたほうがいい。
- ・海田町がかなり充実したリスク分析を行っている。我々も情報はもっているので良い所は採用して、より素晴らしい計画に出来ればと思う。
- ・誘導施策のリスク分析について。P51 からいろんな施策が載っているが、リスク回避の「建築物土砂災害対策改修促進事業」は他にも類似の事業がある。そちらの方が充実した内容になっている。後日情報提供するので記載してほしい。
- ・居住誘導含め、区域設定の考えがわかりにくい。都市機能誘導区域のときにも言わせてもらったが、「周辺」とあるがどこから何百mか。他の市町の立地適正化計画はそこまで明確にしている。はっきり明示してほしい。

## 事務局

- ・防災指針について、地区別で施策を紐づけて分かるようにしたい。海田町等の他市町の計画を参考にさせて頂く。
- ・区域設定の説明は、素案では適切に分かるようにしないといけないと思っている。相談をさせていただき、県の方にも確認していただきたいと思う。

## 神田先生

- ・熊野町は町のスケールが小さく見やすい。
- ・どこに何を置くか最初議論して、さらにそこから何がいるかを踏み込んでスケールを広げると考えやすいのではないか。
- ・矢野安浦バイパスの完成年が明示しにくいと思うが、このバイパス「ありき」で考えた方が、解像度が高く、より実現性が高いものが出来上がる。

- ・計画書としてどこまで書くかという調整も、この計画の議論とは別に、計画書としてまとめる範囲を調整してもいいのではないか。
- ・地区別の拠点をどうするか。集合住宅をどこに置くかも 1 つのキーとなり考慮すべきものと考えらる。
- ・同時に、旧市街地をどうするか。歩いて暮らせる空間ではあるので、機能させるのか住居として使うのか。ここをしっかりとさせないと、スプロールして建っている家そのうち同じ問題を抱える。旧市街地を意識した考えが必要ではないか。
- ・熊野町は自転車、二輪車が多い。自転車、二輪車をどこに通すかを検討すべき。沿線の施設との関係性をみながら、バスやモビリティとの使い分け、整理が必要と考える。

## 事務局

- ・施設の位置づけ、施策をどこまで示すか検討を進めていきたい。内容の締め示し方についてはどこまで提示するかは調整させていただきたい。
- ・旧市街地に対しては活性化計画があり、ある程度事業を進めていた。ここ近年、事業がなくなったので、今回の立地適正化計画で、熊野町ならではの歴史・文化を大切にしながら回遊性を高めるためにウォークアブルな街並みにするなどしていきたい。出来る範囲で政策を考えたい。
- ・モビリティの考え方、整理できる所に関しては進めていきたい。

## 田中会長

- ・本日の議題は以上となる。簡単にまとめさせて頂く。
- ・1 点目、都市機能誘導区域については、第 1 案で進めたいとのことだが、特に反対はなかったと思う。賛成という意見も頂いた。その先のどういう都市を目指していきたいのか、区域の設定理由も市民の方に納得できる説明が必要だと感じた。居住誘導区域の第 4 案についても異論はなかったと思う。
- ・2 点目、誘導施策について構成を考えてもいいのではと意見があった。検討いただければと思う。「将来的な視点でみては」という考えで、神田先生が言われた解像度にも関係するが、地区と施策の対応関係が分かりやすくなるといいのでは。
- ・3 点目、交通関係の問題でいくつか出ていた。東部地域の方がこの計画をみたときにリアクションが心配であると意見が出た。交通に関しては丁寧な話が必要だと感じた。筆の里工房へのアクセス、矢野安浦バイパスの話があった。
- ・4 点目、防災指針について。総花的になっている。解像度上げた話ができれば良い。地区別の施策、内水分析の必要性の話が出た。
- ・熊野町の特性として「見渡せる」というのがある。解像度高くしてそこからフィードバックしてはという意見も先生から頂いた。旧市街地について、都市機能誘導区域を第 1 案とするなら重要だと感じた。そのあたりを整理してほしい。
- ・以上になる。皆様の協力により、本日の議題は全て終了した。進行をお返しする。

## 4. 閉会

### 事務局

- ・皆様から頂いたご意見を真摯に受け止め策定を進めたい。次回の策定委員会でも忌憚のないご意見を頂きたい。
- ・次回は10月下旬ごろを予定。素案を提示出来ればと思う。
- ・以上で閉会する。